

第1学年 英会話科学習指導案

平成30年 10月 26日 (金)
時間 14:00～14:45
在籍児童数 男子16名 女子14名 計30名
活動場所 インターナショナルルーム

1 単元名 好きな動物はなに? / What animal do you like?

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、どんな学習にも興味をもち、いきいきと元気よく取り組んでいる。担任のまねをして、配布物をわたすときには **Here you are.** や **Thank you.** と言ったり、「〇〇って英語でなんと言うの?」と聞いてきたりすることもある。これらのことやアンケートの結果からも分かるように約9割の児童が英語への興味関心が高いことが分かるが、マイナスな気持ちをもっている児童が数名いるのも事実である。このような現状を踏まえて、一人でも多くの児童に「英語で会話できて楽しい。」と感じさせると同時に、中・高学年の学習の基礎となる英語能力を築かせたい。

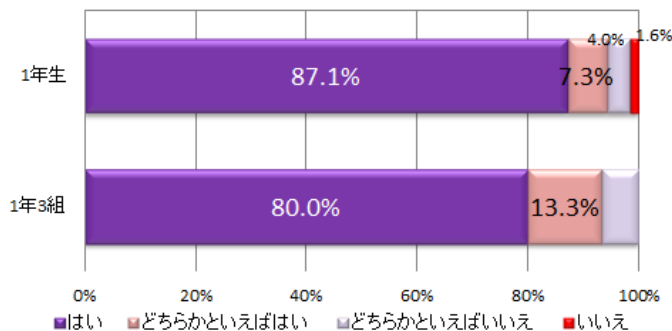
毎朝のEタイム（毎朝行う9分間のモジュールの授業）では、特に **song** の時間が大好きで、児童は毎月変わる振り付けの英語の歌を「次はどんな歌だろう?」とわくわくして心待ちにしている。発音練習でも、ネイティブの発音をよく聞き、口の開け方を意識して、時にはジェスチャーもしながら取り組んでいる。会話練習では、(1)相手に聞きやすい声の大きさ、(2)アイコンタクト、(3)スマイルの3点を意識して行おうとしている児童も多いが、まだうまくできない児童もいる。そのため、英語の授業時だけでなく、日常生活でもコミュニケーションを図るときには、上記3点はとても大切だということを繰り返し指導していきたい。

EタイムL（45分で行う授業）では、ALTの先生との触れ合いをとても楽しみにしており、Eタイムでインプットした内容を臆することなくアウトプットする場となっている。学校全体で1時間の授業の流れを統一しており、その流れにも慣れてきた。現状は毎月のスキットをそのまま話すことが中心の活動を行っているが、今後は児童の実態を見ながら、徐々に自分の言いたいことを伝えるなど、自然な会話になるようにしていきたい。また、本時のめあてにそって振り返りカー

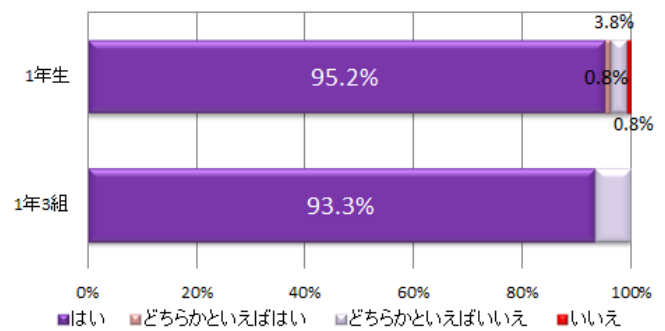
ドを記入することも練習している。これからも継続していき、高学年になったときには自分のできること、できないことを自ら判断し、自分にあった学習目標をたてられる児童を育てていきたい。

「英語の学習についてのアンケート」

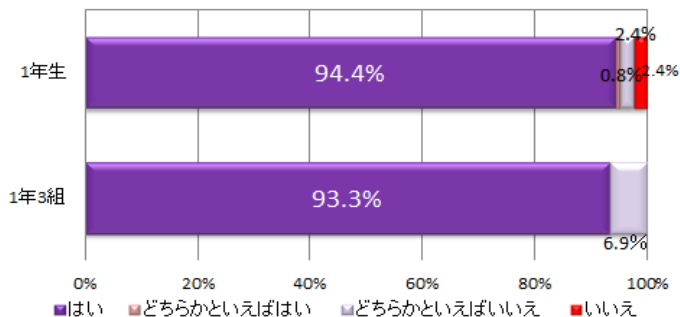
あなたは英語が好きですか



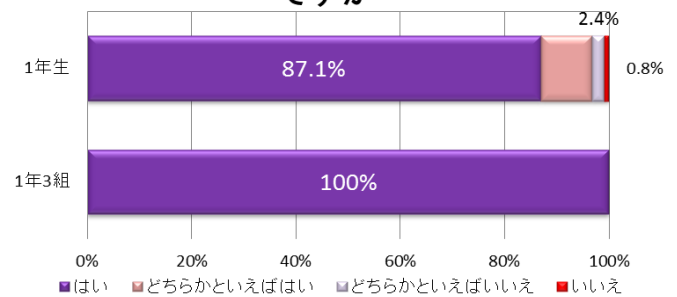
E-タイムの時間は楽しいですか



E-タイムLの時間は楽しいですか



外国人に会ったとき、英語を使いたいですか



(2) 本単元の意図

本単元では、以下の4点に重点を置き、指導していく。

一つ目は、児童が友達に興味関心をもって話したり、聞いたりして自然な会話になるようにすることである。本単元では、好きな動物を尋ねたり、答えたりすることで友達とコミュニケーションを図る活動を扱う。今回は動物だけに限らず、幅広い語句を扱う。1週目は **What animal do you like?** 2週目は **What character do you like?** 3週目は **What color do you like?** そして4週目は **What food do you like?** と名詞の部分を変更して行い、児童の友達への「聞きたい・知りたい」という興味関心を高めていきたい。

また、E-タイムL（45分で行う授業）だけでなくE-タイム（毎朝行う9分間のモジュールの授業）の時間も含めて「ちょこっと English」（チョコインタイム）という時間を設ける。それは、児童が「言いたいけれども英語でどうやって言えばいいかわからないことを先生に聞く時間」である。定期的にその時間を設けていくことで、児童の本当に言いたいことを大切にしていくと同時に、スキット学習の欠点である A→B→A→B と型にはまった会話をするのではなく、自分の思ったことを素直に話せる会話にしたい。

二つ目は、目的意識をもって活動をするための場づくりである。1年生になり、少しずつ小学校生活に慣れてきた児童だが、まだクラス全員のことを詳しく知らないことも多い。そこで友達の「好きな物・こと」を話す活動とそれをクイズにした活動を通して、お互いのことをもっとよく知り仲良くなろうという目的をもたせた活動を行う。また学校探検で先生方にインタビューしたことを思い出しながら、生活科との関連を図る。

三つ目は、リポートとジェスチャーの定着である。本校の1, 2年生の英語活動全体を通しての目標がジェスチャーであり、コミュニケーションツールとしてもとても重要な役割を果たしているため、できるようにさせたい。またリポートに関しては自分たちが何を話しているか認識させるためにも低学年には特に有効であるため、定着を図りたい。

4つ目は、4年生から始まるE-TIME W（文字を書く活動に特化したモジュール活動）につながる文字指導である。本校では1, 2, 3年生の間にアルファベットの名前の一致をさせることを目標としている。そこで1年生では、本単元で扱っている補充語句を取り上げて、そこから一つの文字に焦点を当てて楽しくその文字と親しませる活動をしていきたい。

3 研究主題との関連

研究主題『積極的にコミュニケーションを図ることができる児童の育成

ー外国語によるコミュニケーションを通じて自分の思いや考えを深める研究ー』

【仮説1】

自分の思いや考えを話す学習活動を取り入れることで、英語での言い方を理解すると同時に、自分の考えや気持ちを伝える力が育つであろう。

【手立て1】

E : 「What ○○ do you like?」の「○○」の部分を週ごとに変更することにより、児童の興味関心を高める。

EL : 「インタビューや誰でしょうゲームを通してクラスの友達の新たな一面を発見し、もっと仲良くなろう」という目的をもった場面設定。

チョコイン（チョコット English）タイムの充実。

【仮説2】

文字にふれる場面を多く設定し、定期的に英語を読んだり書いたりする学習活動を行うことで、児童がコミュニケーションに活用できる「読む力」「書く力」が育つであろう。

【手立て2】

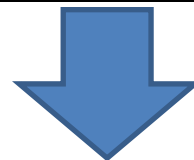
補充語句に全てアルファベットを入れて示し、毎日児童の目に触れるようにする。

身近にあるアルファベットを中心に楽しく文字に触れる場を設ける。

4 単元計画

(1) スキットの系統性・関連生

| 1年生 本校スキット「好きな動物はなに」 | 3年生 Let's Try! 1 Unit5 「What do you like?」 |
|---|--|
| A : Hello, (Vincent). B : Hello, (Tarah). I like dogs. What animal do you like? A : I like rabbits. 【発展スキット】 ①A : What character do you like? B : Um... I like Doraemon! A : Doraemon? B : Yes! A : That's nice! ②A : What color do you like? B : Well... I like Yellow! A : Yellow? B : Yes! A : I like yellow too! ③A : What food do you like? B : Um... ,let me see... A : I like curry and rice! B : Curry and rice? A : Yes. B : Me too. | A:What food do you like? B:I like oranges. A:What sport do you like? B:I like soccer. A:What fruit do you like? B:I like strawberries. など |



| 中学1年生 TOTAL ENGLISH LESSON 3 「初めまして」 |
|--|
| A:What sports do you like? B:I like baseball and basketball. A:I like basketball,too.But I'm not a very good player. B:Let's practice together. |

(2) 目標及び評価規準 (※本時は4週目)

| 観点 | 単元の目標 | 単元の評価規準 | 週 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|----------|--|--|------|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| 関心・意欲・態度 | What ○○ do you like?の表現にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。 | What ○○ do you like?の表現にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとしている。 | 評価機会 | | | | ○ |
| 話す(発表) | 本単元では取り扱わない。 | | | / | / | / | / |
| 話す(やりとり) | リズムやイントネーションをまね、What ○○ do you like?を使って、自分の思いを伝え合うことができる。 | リズムやイントネーションをまね、What ○○ do you like?を使って、自分の思いを伝え合うことができている。 | | | ○ | ○ | |
| 聞く | What ○○ do you like?の表現にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。 | What ○○ do you like?の表現にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。 | | ○ | | | |
| 気づき | What ○○ do you like?の○○の部分を変更して使うことができることに気づく。 | What ○○ do you like?の○○の部分を変更して使うことができることに気づいている。 | | | ○ | | |
| 読む | / | | | / | / | / | / |
| 書く | / | | | / | / | / | / |

(3) 指導のと評価の計画

| | 1週 | 2週 | 3週 | 4週 (本時) |
|----------------------------|---|--|---|--|
| 週 の 目 標 | <p>What ○○ do you like?の表現にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。【聞く】</p> | <p>リズムやイントネーションをまね、What ○○ do you like?を使って、自分の思いを伝え合うことができる。【話す・やりとり】</p> <p>What ○○ do you like?の○○の部分を変更して使うことができることに気づく。【気づき】</p> | <p>リズムやイントネーションをまね、What ○○ do you like?を使って、自分の思いを伝え合うことができる。【話す・やりとり】</p> | <p>What ○○ do you like?の表現にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。【関・意・態】</p> |
| E タ イ ム | <p>【ふれよう】</p> | <p>【慣れよう】</p> | <p>【慣れ親しもう】</p> | <p>【楽しもう】</p> |
| | Greeting・Song・Watch DVD | | | |
| | <p>○モデルスキット What animal do you like? ○動物に関する補充語句の練習 ○ゲーム ・キーワードゲーム など</p> | <p>○モデルスキット What character do you like? ○キャラクターに関する補充語句の練習 ○ゲームなど ・ミッシングゲーム など</p> | <p>○モデルスキット What color do you like? ○色に関する補充語句の練習 ○会話練習 ・1週目～3週目までのスキットを使った会話練習</p> | <p>○モデルスキット What food do you like? ○食べ物に関する補充語句の練習 ○会話練習 ・1週目～4週目までのスキットを使った会話練習</p> |
| E タ イ ム L | 1. Greeting 2. Song | | | |
| | <p>3. Ultra letter game ・補充語句から一つ単語を取り上げて、その中の文字に注目させて、その名称を確認し、その文字と親しむ。</p> <p>4. Practice ・発音に重点をおいたリピート練習 (基本スキットと発展スキット①)。</p> | <p>3. Ultra letter game ・補充語句から一つ単語を取り上げて、その中の文字に注目させて、その名称を確認し、その文字と親しむ。</p> <p>4. Practice ・発音に重点をおいたリピート練習 (発展スキット①、②、③)。</p> | | |
| | 5. Today's Point | | | |
| | <p>6. Interview Game 1 ・挨拶をして、好きな動物やキャラクターについてインタビューをし、最後に「私は誰でしょうゲーム」を行う。(チョコインタイムも含む)</p> | <p>6. Interview Game 2 ・挨拶をして、好きな動物やキャラクター、色、食べ物についてインタビューをし、最後に「私は誰でしょうゲーム」を行う。(チョコインタイムも含む)</p> | | |
| | Review ・ Greeting | | | |

5 本時の展開 (第4週)

- (1) 目標 リズムやイントネーションをまね、What ○○ do you like?を使って、自分の思いを伝え合うことができる。
- (2) 評価規準 【関・意・態】 What ○○ do you like?の表現にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。
- (3) 展開

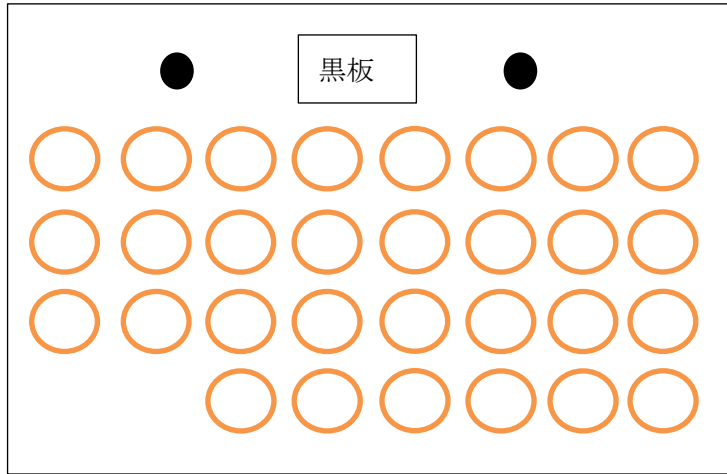
| 時間 | 活 動 | | | 支援・指導上の留意点・【評価規準】 | 資 料 |
|--|---|---|---|--|-------------------|
| | 児 童 | H R T | A L T | | |
| 5' | 1 あいさつをする ・ Hello Mr.Araki and Ms.Sonia! ・ I'm fine thank you, and you? | ・ Let's start our English lesson. ・ Let's say "Hello". | ○Hello everyone. How are you today? I'm fine. | <ul style="list-style-type: none"> ・元氣よくあいさつを交わし、活動への意欲を高める。 ・挨拶のあと、HRT とALT でSmall Talkを行うが特に太字の部分をゆっくり、はっきりと言い、児童に聞き取りやすいようにする。またジェスチャーも多く取り入れていく。 ・一度会話を聞かせたあとに、何が聞き取れたか確認し、その後もう一度会話をを行う。 | |
| <p>Ms.Sonia, today is Friday. / Yes,it is. / What's your plan for Saturday or Sunday? / I will go shopping and watch movie. / Oh that's nice!! / Do you like anime? / Yes, I do. / What character do you like? / Umm.. Let me see..I like Mickey Mouse! / How about you? / I like Conan. / I see!</p> | | | | | |
| 3' | 2 “Zoo Tra-ra-ra”を歌う。 | ・ Let's sing “Zoo Tra-ra-ra” together! | ○Are you ready? Don't forget gestures! | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気を作り、元氣よく歌う。 ・動物のジェスチャーを忘れずに行うようにする。 | CD |
| 5' | 3 “Ultra letter game”を行う。 | ・ Today's letter is □. ・ Let's find □!! Ready go!! | ○ Do you know this letter? ○ Let's practice!Repeat after me. | <ul style="list-style-type: none"> ・文字とその名称の一致をさせる。 ・楽しく活動する。 | ピックアップする文字を拡大したもの |
| <p>①補充語句から一つ単語をピックアップし、その中から一文字に注目させて、その読み方を確認する。 ②その文字を探す活動を行う。</p> | | | | | |
| 5' | 4 スキットと補充語句の練習をする。 | ・ Let's practice about these words. | ・ Repeat after us. | <ul style="list-style-type: none"> ・「正確な発音」に重点を置き、本時の活動で使用するスキットと補充語句の練習をする。 ・後半は、体を実際に使ってたくさんの友達と一緒に楽しく練習できるように促す。 | スキット表 |
| <p>(1) HRT・ALT と一緒に補充語句やスキットの練習をする。 ※スキット→What ○○ do you like?に関する会話練習。 補充語句→animal, character ,color,food に関する補充語句の練習。 (2) 児童同士でペアになり、スキットの練習をする。 ①ペアになり、じゃんけんをする。 ②背中合わせになる。 ③じゃんけんで勝った方がかけ声をかけ、2人同時に What ○○ do you like?という。 ④その後 I like △△と同時に答える。 ⑤その答えた物が同じならハイタッチをする。違った場合は、Sorry, bye と言って分かれる。(繰り返す)</p> | | | | | |
| 1' | 5 本時のめあてを確認する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって活動できるように意識させる。 | |
| <p><Today's Point>ともだちの すきなことについて たくさん かいわしよう</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|-------------------------|---|---|--|--------------|
| 18' | 6 “Interview game2”をする。 | ・ Next is “Interview game2”. | ○ Please watch our demonstration!! ○ Did you understand? | <ul style="list-style-type: none"> このインタビュー活動を通して、友達の新しい一面を知り、もっと交友を深めよう、という目的を忘れないようにさせる。 聞いたり答えたりするだけでなく、考えたり、驚いたり、共感したりなどの反応をしっかりと取り入れるようにさせる。 できるだけ、いろいろな友達と会話するように促す。 HRT→児童の会話の聞き取り（評価）、会話補助、ペアづくりの案内をする。 ALT→会話補助、ペアづくりの案内、チョコインタムでの正確な英語表現を教える。 | 自分のインタビューカード |
| <p><この活動の流れ></p> <p>①インタビューする児童（A）とインタビューを受ける児童（B）に分かれる。</p> <p>②AはBへたくさんインタビューをしに行く。（好きなものについて）</p> <p>③インタビューの後、AはBからインタビューカードをもらう。</p> <p>④時間で区切り、AとBを交換する。</p> <p>⑤④の時に「チョコインタム」を行い英語でもっと言いたいことや聞きたいことはなかったか確認し練習する。</p> <p>⑥自分が聞いて集めたインタビューカードの中から一つ選び「私は誰でしょうゲーム」を行う。</p> | | <p><チョコインタムのイメージ></p> <p>HRT : Do you have any questions? Or, do you have something more to say? C : What's "onaji" in English? ALT : Somebody knows how to say "onaji"? HRT : It's same!! ALT : OK, Let's practice! It's same!!</p> <p><誰でしょうゲームのイメージ></p> <p>C1 : I like ○○.I like □□. Who am I? C2 : It's ◆◆? C1 : No,it's not. All C : Hints please. C1 : I like △△.I like ××. Who am I? C3 : It's ●●? C1 : Yes,it is!!</p> | <p><インタビューのイメージ></p> <p>A : Hi! B : Hello! A : What ○○ do you like? B : I like ▲▲. A : Oh,that's nice! What □□ do you like? B : Um...I like ★★. A : Me too!! Yeah!! What □□ do you like? B : □□? A : Yes! B : I like ◆◆. A : Ok.Thank you! See you!</p> | <ul style="list-style-type: none"> ※インタビューカード：自分の好きな動物やキャラクター、色、食べ物が書かれているカード。 <p>【関・意・態】What ○○ do you like?の表現にふれ、活動を楽しみ、進んで参加しようとする。（観察）</p> | |
| 7' | 7 振り返りをする。 | ・ Today's point was ～. | ○ Please write your passport. | <ul style="list-style-type: none"> めあてに正対した振り返りをしていた児童を取り上げ、称賛する。 | パスポート |
| 1' | 8 終わりのあいさつをする。 | ・ Let's say “Thank you very much”. | ○ Everyone did great job! See you next time! Bye! | <ul style="list-style-type: none"> 握手やハイタッチを行い、楽しい雰囲気の中で活動を終わりにする。 | |

・場の設定

○は児童、HRT、ALT（●）は会話の様子を確認し、声掛け、評価する。

基本隊形



Interview game2 (内側：インタビューする人、外側：インタビューされる人)

